

厚木市の都市計画基礎調査の概況

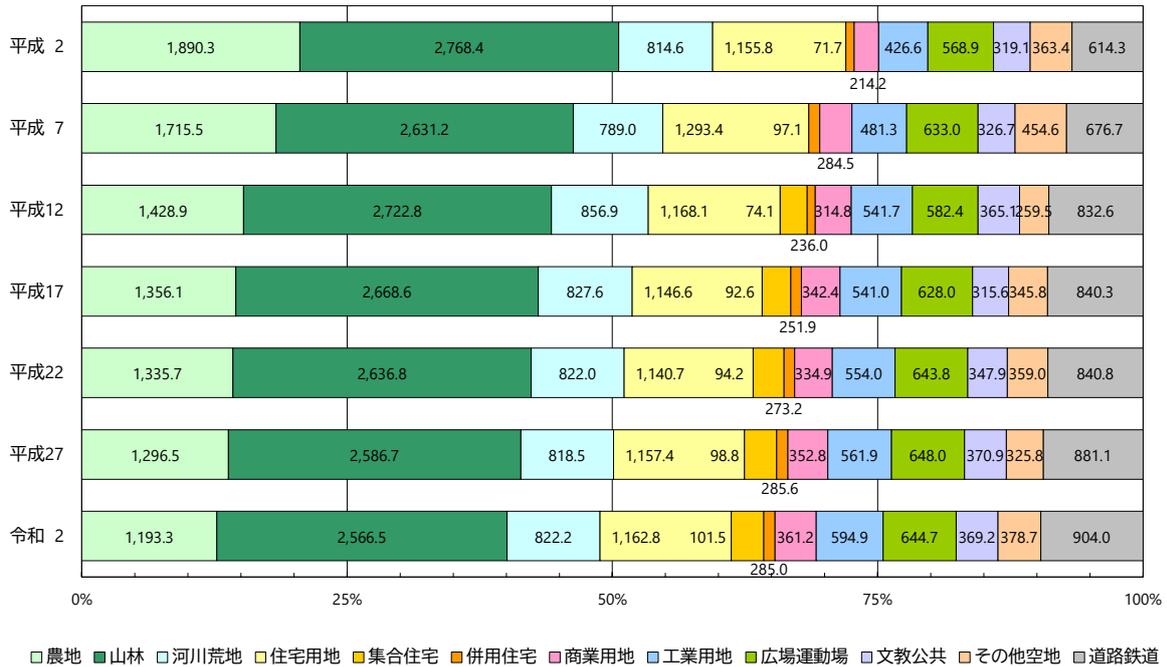
1. 土地利用の状況

令和2年度都市計画基礎調査における本市の土地利用の状況をみると、都市的土地利用の面積は、4,802ha で市域の約 51%を占めており、5年間で 120ha の増加がみられる。一方、自然的土地利用の面積は、4,582ha で約 49%を占めている。

また、都市的土地利用のなかでは、住宅及び集合住宅、併用住宅からなる住宅系用地の占める面積が最も多く、1,550ha（17%）を占め、次いで、道路・鉄道が 904ha（10%）、ゴルフ場や公園等の広場・運動場等用地が 645ha（7%）、工業系用地 310ha（3%）となっている。

平成27年度から、その他空地が 53ha 増加し、次いで工業用地が 33ha 増加、道路鉄道が 23ha 増加、商業用地と住宅系用地が 8ha 増加している。一方で、農地が 103ha 減少し、次いで山林が 20ha 減少、広場運動場が 3ha 減少、文教公共が 2ha 減少している。

●【市全域：都市計画区域】土地利用分類別面積の割合と推移 ※平成2年及び7年の集合住宅は、住宅用地に含む。(ha)



●【参考：市街化区域】土地利用分類別面積の割合と推移

※平成2年及び7年の集合住宅は、住宅用地に含む。(ha)

